

第4回 正宗文庫セミナー

正宗文庫は、国文学者で歌人の正宗敦夫【まさむね・あつお、明治14年(1881)-昭和33年(1958)、正宗白鳥の弟】が、丹精込めて蒐集した古典籍・文書・短冊類を中心として、昭和11年(1936)に郷里岡山県和気郡伊里村大字穂浪(現 岡山県備前市)に創設した文庫です。

所蔵資料は7,000点(20,000冊)余り、現在は財団法人正宗文庫(正宗千春理事長)によって維持管理運営されています。

【参考】

深井紀夫(ふかい かずお)編『正宗文庫所蔵典籍分類目録 郷土関係編』(正宗文庫発行、非売品、1995年)

正宗文庫調査班(小川剛生主編)「正宗文庫目録(五十音順、典籍編)」(『調査研究報告』29号、国文学研究資料館、2009年3月)

正宗文庫監修、小川剛生編『正宗敦夫文集1 ふぐらにこもりて』(東洋文庫916、平凡社、2024年)

開催日 2024年 9月 7日(土曜日) 13:30~16:00

場所 岡山県立博物館 講堂

(住所 〒703-8257 岡山市北区後楽園1-5 ※裏面参照)

挨拶 就実大学教授 岡山県立博物館長 一般財団法人正宗文庫理事長
かわさき つよし ほそかわ まこと まさむね ちはる
川崎 剛志 細川 誠 正宗 千春

講師 基調講演

国文学研究資料館副館長

かん さく けん いち

神作 研一

【演題】17-18世紀岡山の学芸

—正宗文庫とところどころ—

講演

就実大学講師

たけうち こうすけ

竹内 洪介

【演題】正宗文庫と湯浅常山

—『常山紀談』の検討を中心に—

立教大学准教授

おさき なつこ

尾崎 名津子

【演題】地方出版という観点から考える、

正宗敦夫の出版事業

定員 50名

受講料 無料

申込方法 事前申込制 先着順

①Eメール bunko.seminar@nijl.ac.jp

②ウェブフォーム <https://forms.gle/moHFR3AG9BbPyvPL9>

上記いずれかの方法でお申し込みください。後日Eメールにて受講票を送付いたします。

Eメールの場合は、タイトルを「第4回 正宗文庫セミナー申込」とし、本文に氏名、氏名ヨミ、メールアドレスを記入し送信してください。ご記入いただいた個人情報は、当行事運営のために使用します。

受付開始 8月 1日(木曜日)

締切 8月 30日(金曜日) ただし、定員になり次第締切とします。

主催 国文学研究資料館



東京都立川市緑町10-3
HP: <http://www.nijl.ac.jp/>
E-mail: bunko.seminar@nijl.ac.jp

共催 一般財団法人正宗文庫、岡山県教育委員会、就実大学人文科学部
後援 備前市教育委員会

お申し込みはこちら



第4回 正宗文庫セミナー

挨拶

就実大学教授
かわさき つよし
川崎 剛志



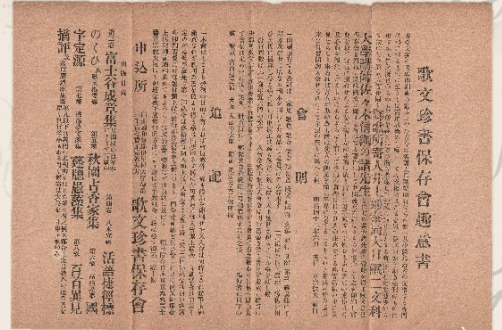
岡山県立博物館長
ほそかわ まこと
細川 誠



一般財団法人正宗文庫理事長
まさむね ちはる
正宗 千春



『歌文珍書保存会趣意書』個人蔵



基調講演

国文学研究資料館副館長
かんさく けんいち
神作 研一



17-18世紀岡山の学芸 — 正宗文庫とところどころ —

正宗文庫の蔵書の特徴づけているのは「郷土書目」の存在です。その数 2,000 点余り。文庫全体の4分の1を占めるそれらを中心に、備前片上の医者たちによる俳事や備前酒折宮神主岡俊直、漢学者松井可楽和学者土肥経平らの雅事・逸事など岡山文芸に関わる諸作品を追跡して、江戸時代における豊饒なる岡山学芸史の一面を皆さんと一緒に覗いてみます。

講演

就実大学講師
たけうち こうすけ
竹内 洪介



正宗文庫と湯浅常山 —『常山紀談』の検討を中心に—

湯浅常山を知っていますか。代表作『常山紀談』をはじめ、数多くの著作を遺した、江戸時代の岡山を代表する文人です。正宗敦夫は常山を愛し、数多くの著作を蒐集しています。特に、この文庫にある『常山紀談』は特異なことで知られます。正宗文庫の常山コレクションをご紹介します。同文庫蔵『常山紀談』の特異性・重要性を考えます。

講演

立教大学准教授
おぎ なつこ
尾崎 名津子



地方出版という観点から考える、正宗敦夫の出版事業

正宗敦夫は古典籍の蒐集や研究だけでなく、出版も行いました。歌文珍書保存会としての活動や、『日本古典全集』などの叢書は、貴重かつ重厚です。敦夫はこの事業を、出版界の中心地・東京ではなく、備前で成し遂げました。近代日本の地方出版という観点から、この活動を見直します。



場所

岡山県立博物館 講堂
〒703-8257 岡山市北区後楽園1-5

問い合わせ先

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館
National Institute of Japanese Literature

東京都立川市緑町10-3
HP: <http://www.nijl.ac.jp/>
E-mail: bunko.seminar@nijl.ac.jp

お申し込みはこちら

締切

8月30日(金曜日)

